

製品名: P2RY13 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab15601**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	38kDa

抗原情報

遺伝子名	P2RY13
別名	P2RY13; GPR86; GPR94; FKSG77; P2Y purinoceptor 13; P2Y13; G-protein coupled receptor 86; G-protein coupled receptor 94
遺伝子 ID	53829.0
SwissProt ID	Q9BPV8
免疫原	抗血清はヒト P2RY13 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 209-258

背景

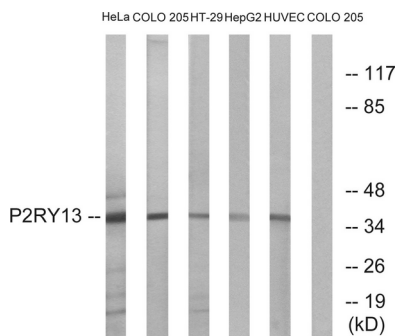
この遺伝子産物は G タンパク質共役受容体ファミリーに属します。このファミリーには、様々なアデノシンおよびウリジンヌクレオ

チドに対して、薬理的選択性が異なる複数の受容体サブタイプ（一部は重複）が存在します。この受容体はADPによって活性化されます。[RefSeq提供、2008年9月]機能：ADP受容体。G(i)タンパク質と共役。造血および免疫系において役割を果たす可能性があります。、その他：安定的にトランスフェクトされたCHO細胞におけるADP刺激は、百日咳毒素感受性のアデニル酸シクラーゼ阻害およびMAPキナーゼMAPK3およびMAPK1のリン酸化をもたらしました。アデニル酸シクラーゼ阻害およびMAPキナーゼのリン酸化は、G(i)タンパク質が関与する伝達機構です。、配列注意：配列の汚染。潜在的なポリA配列。、類似性：Gタンパク質共役受容体1ファミリーに属する。、組織特異性：脾臓および成人脳で強い発現を示す。胎盤、肺、肝臓、脊髄、胸腺、小腸、子宮、胃、精巣、胎児脳、副腎では低い発現を示す。膵臓、心臓、腎臓、骨格筋、卵巣、胎児大動脈では検出されない。リンパ節および骨髄では明確に検出され、末梢血単核細胞（PBMC）および末梢血白血球（PBL）では弱く検出されたが、多形核細胞（PMN）では検出されなかった。脳では、検査したすべての脳領域で検出された。、

研究分野

神経活性リガンド-受容体相互作用;

画像データ



P2RY13抗体を用いたHeLa細胞、COLO細胞、HT-29細胞、HepG2細胞、HUVEC細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。